

# 令和2年度 音楽科 第1学年 シラバス

学期	月	題材名	題材のねらい	時間	観点別学習状況の評価規準		評価の方法			
							テスト	定期	発表	提出物
1	4	歌声を響かせよう ・校歌 ・主人は冷たい土の中に	○歌詞の内容や曲想を感じ取り、自分の歌声に留意しながら、新しい仲間と一緒に表現を工夫して歌う。	2	関・意	明るい響きの歌声に興味・関心をもって歌おうとしている。	○	○		○
				2	創意	自分なりの思いをもって力強い表現のための工夫をしている。	○	○		
				3	表・技	曲のまとまりや声の響き合いを感じ取りながら歌うことができる。	○	○	○	
		ジャズとクラシック音楽の出会い ・ラブソフィーインブルー	○ジャズとクラシックが融合した音楽を聴き、旋律やリズムの違いや特徴を感じ取り、曲や演奏の魅力や楽しさを味わいながら聴く。	2	関・意	ジャズとクラシックが融合した音楽に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。				○
				2	鑑賞	旋律やリズム、特徴的な楽器の奏法など、ピアノとオーケストラの掛け合いを聴き取り、曲の魅力を味わいながら聴いている。				○
	5	イメージと音楽のかかわりを感じ取ろう ・映画「ジョーズ」から「ジョーズのテーマ」	○イメージと音楽とのかかわりを感じ取って、そのよさや美しさを味わいながら聴き、言葉で説明するなどする。	2	関・意	曲想の移り変わりを積極的に感じ取ろうとしている。	○			○
				2	鑑賞	楽曲が表現している情景や気分を、想像豊かに感じ取っている。				○
		音楽の特徴から情景を想像しよう ・春―第1楽章―	○音楽の特等を、曲想や背景と関連付けて、そのよさや美しさを味わったり情景を想像したりしながら聴き、言葉で説明するなどする。	3	関・意	曲想の移り変わりを積極的に感じ取ろうとしている。	○			○
				3	鑑賞	楽曲が表現している情景や気分を、想像豊かに感じ取っている。				○
	☆言語活動			楽曲の雰囲気や曲想の変化を音楽の諸要素を根拠に表現する。						
6	表現を工夫しよう ・基本的な奏法	○曲想や全体の響きを感じ取って、表現しよう	3	関・意	楽器に興味を持ち、演奏する楽しさを味わうことができる。	○	○		○	
			3	表・技	曲の構成に合わせた表現ができる。	○	○			
	全体の響きを感じ取ろう ・エーデルワイス	○旋律のまとまりや全体の響きをとらえたり、言葉の特性を生かしたりしながら、工夫して合唱する。	2	関・意	旋律のまとまりや重なりを積極的に感じ取ろうとしている。	○			○	
			2	表・技	階名を理解し、言語に合わせた発声や表現ができる。	○				
7	日本の歌のよさを感じ取ろう ・赤とんぼ	○歌詞の内容や曲想から日本の歌のもつ情緒を感じ取り、情景を思い浮かべながら、表現を工夫して表情豊かに歌う。	1	関・意	歌詞と旋律とのかかわりに関心をもち、意欲的に表現しようとしている。	○			○	
			1	創意	歌詞の内容や曲想に合わせて、歌声や表現を工夫している。	○				
2	9	曲の雰囲気を感じ取ろう ・魔王	○詩の内容と曲想との関わりを感じ取って、そのよさや美しさを味わいながら聴き、言葉で説明するなどする。	4	関・意	曲の構成に関心をもち、それを生かして意欲的に表現しようとしている。	○			○
				4	鑑賞	演奏者による声質の違いや劇的表現の特色を感じ取っている。				○
	10	パートの役割を感じ取ろう ・学習発表会の取組	○歌詞の内容や曲想を感じ取り、へ音譜表の読み方を覚え、パートの役割や旋律の重なり方を考えながら表現を工夫して合唱する。	8	関・意	曲の強さや速さに関心をもち、曲想の変化を聴き取ろうとしている。	○	○		○
				8	創意	歌詞の内容に合った速さや強弱の変化を感じ取りながら、曲にふさわしい表現を工夫している。	○	○		
				8	表・技	拍子に合うよう組み合わせを考え、曲のイメージをしっかりと表現できる。	○	○		
	11	曲想が生み出す雰囲気を感じ取ろう ・和楽器奏法「箏」 ・箏曲「六段の調」 ・My Melody	○箏曲の特徴と背景との関わりをとらえることで、音楽の多様性を感じ取り、その良さや美しさを味わいながら聴く。 ○箏の特徴をとらえ、基礎的な奏法を身につけて演奏する。 ○箏を平調子に調弦してその音階の特徴を感じ取り、表現を工夫して簡単な旋律をつくる。	4	関・意	箏の演奏やその音色に関心を持ち、意欲的に聴き取ったり、表現したりしようとしている。	○	○		○
			4	表・技	基礎的な奏法を身につけ、正しく調弦したり、旋律をつくったりしている。	○	○			
			1	創意	箏の音色や曲調を生かし、表現を工夫している。	○	○			
			2	鑑賞	箏曲の特徴と背景との関わりをとらえ、我が国の伝統音楽のよさを感じ取っている。				○	
	12	特徴の違いを感じ取ろう ・アジアの民族音楽	○日本の伝統的な音楽とアジアの諸民族の音楽の特徴をとらえることで、音楽の多様性を感じ取り、そのよさや美しさを味わいながら聴く。	2	関・意	アジアの諸民族の音楽や楽器に関心を持ち、進んで聴き取ったり親しんだりしようとしている。	○			○
				2	鑑賞	他の地域の音楽や楽器の音色と比較し、アジアの諸民族の音楽や楽器の特徴を聴き取ることができる。				○
3	1	日本の音楽に親しもう ・日本の民謡	○日本の楽器の響きの魅力や郷土の音楽のよさを味わい、我が国の音楽に親しむ心情を育てる。	2	関・意	日本の民謡の独特な発声や音楽の特徴に関心を持ち、意欲的に聴き取ろうとしている。	○			○
				2	鑑賞	他の地域の音楽や楽器の音色と比較し、日本の民謡や楽器の特徴を聴き取ることができる。				○
	2	合唱の喜び			関・意	曲の背景や作詞者の心情に関心を持ち、歌いづらいところなど意欲をもって歌っている。	○			○
	3	儀式 ・国歌 ・仰げば尊し ・さようなら	○パートの役割を感じ取り、全体の響きに気をつけて合唱する能力を育てる。	4	感・表	詩や旋律が生み出す情感を感じ取り、速度や強弱、歌い方などに着目して、自分なりの表現を工夫している。	○			○
				4	表・技	響きのある声によって、正しい音程でめめらかに歌うことができる。	○	○		
総時間数				45						

|